

新川会通信

第49号

すまいる

発行
社会福祉法人新川会

〒930-0362
上市町稗田字七郎谷1-32
Tel(076)472-1118
Fax(076)472-5391
E-mail yotsubaen@nikawakai.jp
HP http://www.nikawakai.jp/

発行責任者 山岸 親史



食を楽しもう

す。念今イ止図で、感ら限飛た給。て毎る摂て良試す。摂身が脱下ミに水食にさ高。の合漿づ。い衛容さ。体用し私と。じはワ策るあ食じれす沫。食③い日マる済しし。ら体損水機く分(食粗てに食応て)。食す管状者てのを「安全な日イと大り事て、る感従を衛まのナとむたたそなにな。能せいに材きい伴事もいを提別食。理二健は、多たし、二十年になります。私は、四ツ葉園の栄養士として前のが常としき、「はい」な染来取生す生!きよりりのけ支わ誤障!もとに材きい伴事もいを行ます。し、減塩食・形態につけています。この他に「病食・尿病食・医師の診断による食事の提供」を行います。アレルギーと治療・高脂化が進み、近年、身利とのこ

てて毎る摂て良試す。摂身が脱下ミに水食にさ高。の合漿づ。い衛容さ。体用し私と。じはワ策るあ食じれす沫。食③い日マる済しし。ら体損水機く分(食粗てに食応て)。食す管状者てのを「安全な日イと大り事て、る感従を衛まのナとむたたそなにな。能せいに材きい伴事もいを提別食。理二健は、多たし、二十年になります。私は、四ツ葉園の栄養士として前のが常としき、「はい」な染来取生す生!きよりりのけ支わ誤障!もとに材きい伴事もいを行ます。し、減塩食・形態につけています。この他に「病食・尿病食・医師の診断による食事の提供」を行います。アレルギーと治療・高脂化が進み、近年、身利とのこ

食の安全と献立・調理について

主任栄養士 新木俊子

きっかけは、滑川市花卉球根組合の梅次勲さんが滑川市役所農林課へ人手が足りないと相談をされたことから始まりました。相談を受けた滑川市役所農林課がつじ苑を紹介して下さり、チューリップを栽培後に掘り起こされた畠での石拾いや球根拾いの作業を行わ



つつじ苑は地域での活動にも積極的に参加しています。今回は地域との関わりがある活動を紹介します。

チューリップ畠での作業



滑川市役所空家等居住対策課から社会就労センターを通じて、滑川市荒俣にあるシーサイドタウン有磯敷地内の草刈りの仕事を受け、さつき苑と合同で六月と八月に行いました。暑い季節、汗だくになりながら膨大な量の草を刈り皆さんとても疲れた様子でしたが、良い経験となりやりがいを感じられたようでした。

せていたしたことになりました。このことは、北日本新聞に掲載され、ケーブルテレビ「Net3」でも放映されました。

草刈り



滑川市から委託され毎週一回、あいの風鉄道滑川駅と地方鉄道中滑川駅の地下道清掃を行っています。地下道は風が吹き込むので埃や砂が溜まりやすく、秋には落ち葉もたくさん溜まり掃き出すのに一苦労します。寒さが厳しい冬は階段に降り積もった雪が凍り足元が滑りそうになります。また、コーヒーがこぼれ汚れていると連絡を受け、こびりついた汚れを一生懸命にデッキブラシでこすり落としたこともあります。けれども、清掃していると「ありがとう」と声をかけられること

地下道清掃

もありとても励みになります。これからも少しでも街がきれいになるよう心がけて清掃活動に取り組んでいきたいと思います。



約四年前より滑川市二塚のブルーベリー園の園主、桶川克己さんのご指導を仰ぎながらブルーベリー栽培しています。土の配合や肥料の施し方、水の管理、剪定等の生育方法を学びながらブルーベリー園内に鉢植えで栽培しています。当初三十本から始めたブルーベリーも少しずつ追加し現在約二百五十本に増えています。

ブルーベリー栽培

今後も仕事を通して地域の方々との結びつきを深めていきたいと思います。
(宮川支援員 記)

四ツ葉園だより

夏祭り会

八月四日（水）に「夏祭り会」を開催しました。ゲームコーナーでは水鉄砲を行い、的当てゲームを行いました。冷たい水や氷に触れたり景品の一口アイスを食べたりと、夏を感じながら涼むことができました。



昼食には焼きそば、おにぎり、鶏のから揚げ、ポテト、スイカ、アイスと、屋台風ボリューム満点メニューを皆さんペロリと完食しておられました。

個々に応じた食事提供

（井原支援員 記）



「いただきます」一日三食の食事は、誰にとつても楽しみでいっぱいです。園の皆さんも毎食心待ちにしておられます。

午後からは、四ツ葉園とつつじ苑をズームで繋ぎ、四ツ葉園にてパブリックビューイングを開催しました。夏らしい「ウクレレ」の音色に合わせ、皆さんに馴染みのある曲が披露されました。四ツ葉園、つつじ苑双方の利用者の皆さ

食事は、体の栄養だけではなく、心の栄養もあるので、ミニサーサー食、刻み食でも見た目でも食欲が湧くよう努めています。

Aさんは「形のあるものを食べたい」と希望されます。ミキサー食に対しても拒否的で泣かれたこと、手を付けないこともあります。そこで、食材をミキサーにかけたものを食品の形に変形してある、食事を取り寄せて提供してみると、とても喜んで

人が画面を通して一緒に歌つたりリズムに合わせ手拍子をしたりと、感染症対策に配慮しながらも工夫と皆さんのエネルギーで大いに盛り上がりました。

四ツ葉園安全宣言が出されてから初めての行事でしたので、利用者の皆さんは何日も前から楽しみにされており、笑顔が溢れる会となりました。

きるよう、支援員が普段の食

事を観察し摂食、咀嚼、嚥下の三つの項目のアセスメントを行っています。嚥下機能の低下が考えられる利用者さんに対して保健給食委員会で検討し安全に食事摂取ができるよう努めています。また、嚥下機能が著しく低下している事例があるときは、かみいち総合病院の嚥下外来を受診し、食事形態・食事時の姿勢・介助方法など、指示に基づき支援をしています。ミニ

サー食、刻み食、粗刻み食、ところみ食があり、四つの食事形態を組み合わせ個別性を持たせた支援を実施しています。

理美容を担当してくださった美容室「アトリエ俱楽部」さんが、令和二年度で退かれました。これまでありがとうございました。現在は美容室「クレール・クレール」さん、理容店「柳田」さん、理容店「髪工房キルカ」さんが、理美容を担当して下さっています。今後ともよろしくお願いします。

お知らせ

（岡崎係長 記）



理美容を担当してくださった美容室「アトリエ俱楽部」さんが、令和二年度で退かれました。これまでありがとうございました。現在は美容室「クレール・クレール」さん、理容店「柳田」さん、理容店「髪工房キルカ」さんが、理美容を担当して下さっています。今後ともよろしくお願いします。

雷鳥苑だより

食品廃棄（残飯）の勉強会



雷鳥苑で食品廃棄について勉強会を開きました。苑では毎日平均一・五kgの残飯がでており、年間、約三百六十kgの残飯が出る計算になります。横綱白鵬、照ノ富士の二人分の体重よりも年間に出てる残飯が多いことをクイズで学びました。

また、日本ではたくさんの方々が飢餓で亡くなっていることを伝えると驚いていました。「残飯を減らすためにはどうすればいいかな？」と質問すると「食べ残しをしない！」と答えられる方もおられました。

九月二日（木）雷鳥苑で食品廃棄について勉強会を開きました。苑では毎日平均一・五kgの残飯がでおり、年間、約三百六十kgの残飯が出る計算になります。横綱白鵬、照ノ富士の二人分の体重よりも年間に出てる残飯が多いことをクイズで学びました。

食べ残しを全てなくせなくても苦手な物を一口でも良いから頑張って食べてみる。残飯に出すもんなさい」という気持ちを持つことが大事だと、この勉強会で学びました。



イチオシ商品紹介

今年は六種類の唐辛子を栽培し、たくさんの唐辛子が収穫できました。乾燥加工してマックスバリュ上市店にて百五十円から販売しています。ぜひぜひお買い求めください。



（長瀬支援員記）

さつき苑だより

昼食会

七月十五日（木）にさつき苑お楽しみ昼食会を行いました。当日は、上市町にある焼肉レストランからしの牛焼肉弁当、シェークリームなどを食べべ、皆さんあつという間に完食されました。

食品加工場

さつき苑の食品加工場は、平成三十年十二月二十一日に完成しました。IHコンロ、冷蔵庫、冷凍庫、食品乾燥機、食品粉碎機スピードミルなどを導入しました。食品の皮むき等の依頼やオフィスHさんの食用トウキ等の加工に食品加工場を使用しています。

昨年は、さつき苑で栽培したさつまいもを食品乾燥機を使用して干し芋を作りました。まだ商品化はできていませんが、さつき苑で栽培したさつまいもは甘くておいしいので、上手に加工して商品化できるよう努力しています。



八月十日（火）には、夏のお楽しみ会を行いました。そうめん、から揚げ、ソフトクリームなどをいただき、食後には、ウクレレ演奏会、ヨーヨー釣り、くじ引きを行いました。自分の欲しい景品が当たると嬉しそうに職員に見せてくれました。皆さん笑顔で夏の楽しいひと時を過ごしました。

（藤井丈主任記）

つつじ苑だより

は、いつも眺める生活介護班で、いつができる中庭で野菜を育てることにしました。トマト、キュウリ、オクラ、ナスの苗を購入し、六月十八日（金）に植えました。「ナスの花が咲いたよ」「トマトの実が赤くなつてきましたね」と皆で毎日の変化を楽しみながら成長を見守りました。水やり当番の日を楽しみにしている利用者さんもいました。

プランターで野菜栽培

今回の経験を活かしてまた野菜栽培を楽しみたいです。

つつじ苑産ブルーベリージャム

つづじ苑のブルーベリーが生り始めた七月十九日（月）、利用者さんが紙コップを片手に持ち、ブルーベリーの収穫をしました。濃い紫色の実を選んでそのまま場で味見もして「甘いね」「まだ食べたい」と言いながらワイワイと摘み取りました。今年は約1kgの収穫がありました。

（工藤支援員 記）

コロナ対策のためジャム作りは職員が行い、八月二十六日（木）につづじ苑産ブルーベリーで作ったジャムをアイスクリームにかけて皆さんで食べました。ジャムは大好評でした。コロナが落ち着いたら、たくさんの方に want to eat it! 「マイルドな味」「パンに付けたい」など、ブルーベリーを味わっていただきたいです。

七月頃から収穫した野菜は職員が漬物や和え物にして、昼食時に食べました。

工房よつばだより

工房よつばでは、畑作業に取り組んでいます。今年は玉ねぎ、ジャガイモ、キユウリ、ナス、ピーマン、プチトマト、オクラ等どれも大豊作でした。収穫したジャガイモの味はやはり格別なようで、利用者の皆さんからは「美味しい」「また食べたい」と大好評でした。

収穫の喜び

おやつ作りの際には、収穫したジャガイモを使用し、いも餅を作りました。蒸かした芋を丸めてバターで焼く簡単なおやつですが、自分たちで大切に育て、収穫したジャガイモの味はやはり格別なようで、利用者の皆さんからは「美味しい」「また食べたい」と大好評でした。

美味しそう～！

工房よつばで、たんぱく切つてから乾燥機に入れて、乾燥野菜も作っています。その他の野菜を細かく切つてから乾燥機に入れています。収穫の時はやはり嬉しいもので、利用者の皆さんも笑顔で収穫しておられました。

普段何気なく食べている野菜ですが、私達の食卓に並ぶまでには、たくさんの時間と手間がかかります。利用者の皆さんも畑作業を通して改めて食べ物への感謝の気持ちを考えるいい機会になつていると感想です。

（碓井支援員 記）



グループホームだより

グループホームの昼食

つつみだに
の家と第二つ
みだにの家は、
土日祝日に支援
員が日中支援を
行っています。そ
の支援員が昼食も
作るのですが、利
用者さんも当番制で
一緒に作っています。
材料を切ることがで
きる方、それは出来な
いけどお茶を入れたり箸を配つ
たりできる方、それぞれ自分
出来ることを行っています。



(黒田施設長 記)

コロナ禍以前は、支援員と一緒に
に食材の買い出しにも行っています。
した。地元のスーパーに行き、「高いや
いやら安いやら」「あれ入れたこ
れはまだ、取つてくつちや」等々
と話をしながら買い物をしていま
した。コロナ対策のため現在は支
援員一人で買い物をしています。

「今日は焼きそばけ」

「手伝つてもらつておいしそ
うなんができたわ」

「なんか足りんないけ?」

「なに足りん?あつ、青のり
買ってくるが忘れとつた…」

「たまにはそういうこともあります。
利用者の優しさに支えられてお
ります。」

支
利
「今日は焼きそばけ」

支
利
「手伝つてもらつておいしそ
うなんができたわ」

支
利
「なんか足りんないけ?」

支
利
「なに足りん?あつ、青のり
買ってくるが忘れとつた…」

利
「たまにはそういうこともあります。
利用者の優しさに支えられてお
ります。」



一年目職員に聞く

毎年恒例!新川会に勤めて二
年目を迎えた職員の方にインニ
タビューリーを行いました。今回
は伊藤支援員、野城支援員、
石塚相談員、井上事務員の四
名です。

**Q1 一年間を振り返って印象に
残つていることは?**

伊藤

秋祭り会で皆さんに抹茶を
作つて飲んでもらつたこと
です。自分の茶道の才能が
開花しました。

野城

去年は分からぬことが多く
大変でしたが、現在は利
用者の方とイベントや行事
を楽しく頑張っています。

石塚

期末の集いの出し物(TT
兄弟のネタ)の最後に利用
者の皆さんと一緒に踊つた
ことです。みんなが笑顔にな
り嬉しい気持ちになりました。

井上 事務員としてもっと勉強し
て皆さんのにれるよう
精進していきたいと思いま
す。

野城

した。新しい業務を覚えて
いきながら利用者の皆さん
の笑顔が増えるような支援
をしていきたいです。
これからも日々学んでいき
ながら利用者の方ともっと
楽しく関わっていきたいで
す。

写真左から伊藤支援員、野城支援員、
井上事務員、石塚相談員

Q2 二年目の抱負、目標、今後 の意気込みは?

伊藤
九月から班活動が再開しま

井上
私も期末の集いでTT兄弟
の出し物で盛り上がったこ
とが印象に残っています。